

第4学年2組 学級活動（食に関する指導）指導案

授業者 学級担任（T1）

栄養教諭（T2）

1 題材名

長岡の食 地場産物について考えよう

2 題材の目標

○長岡の地場産物の名前や特徴を知り、長岡にはおいしい食材が豊富にあることが分かる。

【知識・技能】

○給食に使用されている地場産物のよさを考え、その安全性や生産に関わる人々の思いを知ること
で、食べ物を大切にし、進んで食べようとする態度を育てる。【学びに向かう力・人間性】

3 題材設定の意図

（1）題材について

令和7年度長岡市学校におけるグランドデザインにおいて、第4次長岡市食育推進計画の基本理念から、学校では「ながおかの食を通して 健康で豊かな食生活を育もう」を食育の目標に掲げている。「やっぱり大好き！ながおかの食～学ぼう・身に付けよう・活かそう～」をテーマに、学童期では「ながおかの食を知っている子」の割合を高くしていくための取り組みを行っている。新潟県では教育月間である11月を「米飯給食、地場産給食推進月間」としており、長岡市も統一献立である「キラッと新潟米☆地場もん献立」を提供していることから、11月に授業として地場産物について取り上げ、興味関心を高めたいと考え本題材を設定した。

（2）児童の実態と期待する児童の姿（男子○名 女子○名 計○名）

4学年は総合の時間に、地域の自然「ぬかやま」について学習している。今回地域の食について学習するにあたり、事前に食育アンケートを行ったところ、「長岡の地場産物を知っている児童33%」「長岡の地場産物を食べたいと思う児童84%」という結果であった。このことから、地場産物への興味関心はあるが、知識が少ないこと、給食の食材が地場産物であることを知らずに給食を食べていることがうかがえる。給食のお米は長岡産コシヒカリであり、野菜も地場産のものを積極的に取り入れているが、苦手な食材を残したり、減らしたりする児童が見られる。特に白米や野菜、魚の残量が多い傾向にある。学校評価では、「苦手なものにも挑戦している児童73.3%」と、学校全体の評価81%と比べて低い傾向にあった。

そこで長岡の地場産物の名前やよさを再確認し、生産者の思いを知ること、食べ物を大切に、進んで食べようとする態度を育てたい。

（3）食育の視点

- 長岡の地場産物や特徴、食文化などを理解し、尊重する心をもつ。【食文化】
- 長岡の地場産物に関心をもち、それらの生産等に関わる人々への感謝する心をもつ。

【感謝の心】

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

長岡の特産物についての理解を深め、食べ物や生産に関わる人に感謝の気持ちを持って食べることができる。

(2) 本時の構想

授業の導入では、事前に行った食育アンケートの結果からクラスの実態を知らせることで、長岡の地場産物にはどのようなものがあるのか「知りたい」という気持ちにさせる。展開では、最初に「長岡地場産クイズ」を行い、楽しみながら長岡の地場野菜を知るとともに、給食でもたくさん出ていることに気付かせる。次に、「栄養教諭（栄養士）はどうして地産地消を給食にとりいれているのだろう」という問いについて、地産地消のよさについてペアで考え、グループで話し合うことで、お互いの意見を共有し合う。また、学校給食米の生産農家の方の動画を紹介することで、生産者の苦労や思いを知り、自分自身の給食の食べ方かどうか考えさせたい。そして来週月曜の給食は「キラッと新潟米☆地場もん献立」であることを紹介し、長岡の地場野菜を「食べたい」という気持ちを持たせたい。まとめでは、最初に本時の内容を振り返り、授業で感じたことや、自分にできる地産地消について考えたことまとめて発表し、意見を共有しあい、地場産物への理解を深めていく。

(3) 展開

時間	学習活動	○教師の働きかけ ・児童の反応	◇指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	1 本時の学習内容を把握する	○ T1 総合学習で、地域の自然「ぬかやま」について勉強しているが、今日は地域の食「長岡の地場産物」について学習することを伝える。 ○ T2 アンケートの結果を伝える 長岡の地場産物を知っている人は33%、食べたいと思う人は84%でした。今日はみんなに長岡の地場産物をもっと知ってもらって、食べたいと思ってもらいたいと思います。	◇P.P でアンケートの結果を映す
展開 30分	2 長岡の地場産物クイズをし、地場産物を知る	○ T2 長岡の地場産物の中でも、「特産物」の名前あてクイズをする。 ・■■ちやく■す ・■ぐらなん■ん ・ゆ■■う ・■■うり ・■■■まめ ・だ■まれ■こ■ ・■■な ・■といも ・こ■■■■ ・あっ、これ分かる。給食でも食べたことがあるよ。 ○T2 今日の給食の材料の中で、地場産物はどのくらい使われているのだろうか？ ・たくさん使われているんだな	◇P.P でクイズを出題する ◇今日の給食と食材を画面に映し、どのくらい地場産

	<p>3 地産地消のよいところを考える</p> <p>4 栄養教諭の話聞き、地産地消のよさについて知る</p>	<p>○T2 私たち栄養教諭（栄養士）は、給食に地場産物をたくさん取り入れています。「地産地消」という言葉を聞いたことがありますか。「地産地消」とは、地場産物を地域で消費することをいいます。私たち栄養教諭（栄養士）は、給食でも地産地消を大切にしています。</p> <p>○T1 なぜ T2 は給食で地産地消を大切にしているのだろう？</p> <p>T2 給食で地産地消に力を大切にしているのは、地産地消にはよいところがたくさんあるからです。地産地消のよいところを考えてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習課題 地産地消のよいところを考えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮だから ・おいしい <p>地産地消のよいところは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心で安全 ・新鮮なものが届く（栄養価も高くなる） ・環境にやさしい（輸送コストやCO2の削減につながる） ・地域の活性化につながる（地域の経済が豊かになる。生産者を応援することにつながる） <p>T2 地場産物は、近くでとれてすぐに使用することができるので、新鮮なうちに届き、食べることができます。また、鮮度が高いと栄養価も高くなります。それがおいしさにつながります。近くでとれるので、輸送にかかるコストや、CO2排出の削減につながり、環境にやさしくなります。また、地場産物は、長岡に住んでいる方が生産しています。長岡市の栄養教諭（栄養士）は毎年、地域の生産者の方々の様子取材させてもらっています。このように、生産者が近くにいる安心でき、距離が近いので、生産者の方も地域の子どもたちのために安全なものを責任もって作ってくださっています。</p> <p>T2 月曜日は「キラッと新潟米☆地場もん献立」であり、長岡野菜や地場産物がたくさん使用されているので、ぜひ</p>	<p>物が使われていたか把握する</p> <p>◇ペア→グループで意見を交換する。 班用のホワイトボードにまとめ、発表する (ホワイトボード、ペン)</p> <p>◇P.P 地域の生産者の方の写真</p>
--	---	--	--

